

令和5年度小松市立板津中学校 学校評価 1 (年度末)

めざす児童生徒像

運営理念「人づくり・夢づくり」
 教育目標「温かな人間関係を基盤とし、地域・社会との関わりを大切にしながら主体的に学んでいく生徒の育成」
 目指す生徒像・自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒（主体性）
 ・多様性を尊重し他者と協働し、よりよく課題を解決できる生徒（他者理解・協働性）
 ・社会に積極的に参画したり、貢献したりできる生徒（社会参画）
 ・自己の生き方を考え、失敗を恐れず夢や目標に挑戦していく生徒（自己理解・将来展望・挑戦）

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	中間			年度末			達成状況の分析	改善策	
				教員			保護者					
				結果(%)	※差	結果(%)	結果(%)	※差	結果(%)			
(学校で設定)	生徒指導	自己有用感 ②③④の生徒の割合が80%以上	① 将来の夢や目標を持っている。	72	72	72	0	83	68	63	-15	①に関しては、大人が夢を語る機会を設けたり、様々な場面で目標を設定する機会を設けたりする。 ②③④については、生徒が人のために役立っている場面を見つけ、その姿を認めたり褒めたりする言葉かけを意図的に行う。
			② 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。	72	76		4	72	82		10	
			③ 自分は人のために役立っている。	83	67		-16	83	73		-10	
			④ 学校は楽しい。	89	82	85	-7	89	87	83	-2	
			集計	79	74	74		82	78	73		
重点項目	業務の改善	②③の平均が中間…85%以上 年度末…90%以上	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。	56						78	①は1学期に比べ、達成状況は上回っている。 ②については、2学期以降は授業準備や部活動指導を行うと同時に学校行事等が続いたが、主任層を中心に役割に責任を持ち、主体的に運営を進めていた。	
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができる。	89				89				
小松市共通重点項目	学校研究	①②の平均が中間…85%以上 年度末…90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。	63						69	①、②いずれも目標数値を達成していないが、①については改善傾向が見られる。授業構想シートなどの取組については、一人一人の取り組み方に差がある。 ②については、教科部会を定期的に設けているが、教科をこえた情報共有の場が少なかった。	
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。	82				75				
			集計	73				72				
	指導力の向上	②③の平均が中間…85%以上 年度末…90%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	76	80		4	69	88		19	③④⑤においては、教員と生徒との間の数値の差が大きくなっている。いずれも、教員の求める生徒の姿と、生徒の考える工夫して発表している姿、振り返りをする姿の間に差があると考えられる。生徒の数値が高いことから、教員と生徒との間で、目標とする姿の共有が十分にできていないのではないかと考えられる。 ⑥については、教員と生徒ともに改善傾向が見られる。話し合いの目的やねらいを明確にしたことで、有意義に話し合い活動が実施できるようになってきていると考えられる。 ⑦については、学習用端末を用いた調べ学習を実施したり、Qubinaでの学習に取り組む時間を増やしたりすることで、生徒の数値は高くなってきている。一方で、教員の数値は下がっており、授業中での活用場面が減ってしまったと考えられる。
			② 児童生徒は、学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。	82	88		6	81	93		12	
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	47	83		36	50	83		33	
			④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。	76	87		11	88	93		5	
			⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。	76	83		7	56	86		30	
			⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。	94	88		-6	88	91		3	
	集計	75.0	85.0			72.0	89.0					
学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③④の平均が中間…85%以上 年度末…90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。	82						63	教員アンケートの結果を見ると、中間報告よりも③と④で向上が見られ、①と②で低下している。この理由として、③については2学期に教科部会や校務分掌の会を定期的に設定し、振り返りを行った成果と考える。一方、②については共通実践を各教科で確認しながら日々取り組んでいるものの、目指す生徒の姿とねらいが切り切れていなかったため、PDCAサイクルをまわしにくかったと考えられる。	
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	76				69				
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。	65				69				
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)	44				50				
			集計	74.6				68.3				
家庭学習	①「家で計画を立てて勉強している」②「家庭学習で学習用端末を活用する」75%以上とする。	① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方等を校内で共通理解を図っている。	69	52		-17	75	72		-3	家庭学習に関して、取組自体が2学期から大きく変更したため、教師と生徒の数値の向上が見られた。学習用端末の持ち帰りについては11月から毎週持ち帰るようになった。しかしながら、まだまだA Iドリルに取り組みさせる課題のみの場合が多く、課題提示の工夫が求められる。	
		② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。	25	27		2	75	58		-17		
		集計	47	40			75	65				

令和5年度小松市立板津中学校 学校評価2

	目標・具体的取組	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p>（魅力ある学校づくりを推進する）</p> <p>○温かな人間関係を築くために、各学期の始まりに、構成的グループエンカウンターやアサーションを行う。 ○自己有用感を高めるために、予め友達や自分の良いところを発見しようと促し、行事後に振り返る活動を行う。 ○教職員が生徒の努力や成長の過程を認める声かけを日常的に行う。 ○不登校傾向の生徒に対してステップルームを利用しながら、自己決定を大切にしながら成長を促す。 ○各学期に仲間とのつながりアンケートを実施し、いじめなどの未然防止に努める。</p>	<p>・各学期の始まりに、構成的グループエンカウンターを学年の状況に合わせて実施することができた。 ・行事前に各学年の集会などで、友達や自分の良いところを発見しようと促し、行事後に振り返る活動を行った。名前と具体的な内容を振り返りシートに記入して掲示した。 ・不登校傾向の生徒に対しては、ステップルームや教室を行き来したり、別の相談室を活用したりしながら、個に応じた対応をすることができた。 ・教職員が生徒の努力や成長の過程を認める声かけを日常的に行う意識をより高める必要がある。 ・各学期から隔月（奇数月）に仲間とのつながりアンケートを実施することに変更し、いじめなどの未然防止に努める意識を高めた。2学期はアンケート後の情報共有をより組織的にできるようにしていきたい。</p>	<p>・各学期の始まりに、構成的グループエンカウンターを学年の状況に合わせて実施することで、クラスメイトとのつながりを深めることができた。 ・行事前に各学年の集会などで、友達や自分の良いところを発見しようと促し、行事後に振り返る活動を行い、具体的な内容を振り返りシートに記入して掲示したことで、アンケート項目「自分は他の人の役に立っている」の数値が高まった。 ・不登校傾向の生徒に対しては、特別教育支援員と連携し、個に応じた対応を行ったため、定期的に登校できるようになった生徒や教室で過ごすことができるようになった生徒が増加した。 ・教職員は生徒の努力や成長の過程を認める声かけを意識的に行ったが、生徒間でも仲間への声かけを行う機会を増やしていく。 ・仲間とのつながりアンケートを継続的に実施し、アンケート後の情報共有を速やかにし、組織的に対応することができた。</p>
特別支援教育	<p>（安心して学ぶための個別支援の充実を図る）</p> <p>○専門相談員など専門機関と協力して生徒の現状から将来を見据えて最良の手立てを講じる。 ○校内特別支援委員会を年2回開催し、PDCAサイクルを機能させ支援の充実を図る。 ○生徒理解の会や学年会で生徒の情報交換、生徒理解を深め生徒の実態に即した適切な支援を行う。 ○個別の教育支援計画・指導の記録や教育支援シートを保管し、継続的な支援を行う。 ○ユニバーサルデザインを用いた、生徒が集中しやすい教室設営、誰もがわかりやすい授業を行う。</p>	<p>・6月に校内委員会を開催し、通常学級における個別の教育支援計画作成して支援する生徒と個別の支援シートで対応をする生徒を確認して支援を行っている。 ・支援計画や支援シートを新たに起こす生徒に対して学級担任が懇談会等で支援の方法など保護者と話をし、作成することを今後行っていく。 ・教室黒板上の掲示物を極力貼らないようにして前方に集中しやすい教室設営を心がけている。</p>	<p>・子どもの発達に不安を抱える保護者に対して、専門相談員に実際に参観してもらい、見取をして支援にいかすことができた。1月に校内特別支援委員会を支援を要する生徒を状況把握し、情報を共有することができた。 ・ユニバーサルデザインを用いた、生徒が集中しやすい教室の環境整備や誰もがわかりやすい授業の工夫等についての校内研修を行う必要がある。</p>
道徳教育	<p>（学校全体で、よりよく生きるための基盤となる道徳教育の向上を図る）</p> <p>○毎月心のテーマに沿った道徳を月始めに行い、他学年、他クラスの考えや思いを道徳通信を通じて共有する。 ○学期に1～2回程度、全学年同じ内容項目で一斉道徳を行い、多様な見方・考え方を交流できる場を設定する。</p>	<p>・毎月心のテーマに沿った道徳科の授業を全学年、計画的に行うことができた。また他学年や他学級の考えや学びを共有するために道徳通信を定期的に発行することができた。2学期も引き続き、考えを一層深めるため、授業を通じた交流を継続していく。 ・1学期は一斉道徳を開催することができなかったが、年間指導計画に沿って重点内容項目の教材を扱った授業を行うことができた。</p>	<p>・毎月心のテーマに沿った道徳科の授業を全学年、計画的に行うことができた。引き続き、多面的・多角的に考えを深めるため、授業を通じた意見交流を継続していく。 ・2学期終わりから3学期はじめにかけて、命をテーマとした一斉道徳を実施することができた。 ・各学年の取組として、1年生は、高齢者施設の訪問と教材「ばあば」を重ね合わせ、生徒が感じたことや考えたことを家族へ発信した。2年生は、「たったひとつのたからもの」を親子で読み、立志の集いで保護者から生徒へ手紙を渡し、生命の尊さや存続について考える機会を持った。3年生はドナー登録について、冬季休業中に家庭で話し合い、3学期の授業で考えを共有したり、深めたりする活動を行った。</p>
キャリア教育	<p>（生徒の将来の進路実現に向けて、計画的にキャリア教育を推進する）</p> <p>○総合的な学習の時間、学級活動を中心に、年間指導計画に沿ったキャリア教育を推進する。 ○将来の自身の進路実現に向けて、「勤労観」「職業観」に関わる体験等を行い、自己理解につなげていく。 ○キャリアパスポートを活用し、自身の考え方や内面的変化について知ることができるようにする。</p>	<p>・キャリアパスポートを用いて年度当初に1年後の自分の目指す姿を設定し、そのために何をすべきか自分ごととして考えさせるため、1年間の見通しを持たせた。 ・高校説明会を実施し、3年生は自身の進路実現に向けて、様々な高校の情報を得ていた。</p>	<p>・各学年、計画に沿って将来や自身の目標について考えることができたが、アンケート等の調査によると、将来について考えられていると実感している生徒の割合は少ない。生徒が設定した小さな目標でも、教員が丁寧に見取り、生徒の努力を認めていくことが必要である。 ・キャリアパスポートの内容については全学年で共通するものと各学年で独自に絞るものを精査していく必要がある。</p>
保健健康教育	<p>（自分の身体や健康に関心を持ち、生活習慣の改善を図る）</p> <p>○生徒の専門委員会の活動を通して、生徒が主体的に考え、行動できるように指導・支援を行う。 ○健康診断前後の指導や保健通信等の情報の発信等を通して、自分の健康や生活習慣に関心をもち、健康な体づくりの支援を行う。 ○保健室利用状況等の情報を共有し、生徒の実態把握に努め、養護教諭と担任が連携して生活習慣改善の支援を行う。</p>	<p>・生徒の専門委員会が、歯垢の染め出し、熱中症クイズ、食事のアンケート、夏休み中の生活習慣記録など、生徒が考えた取組を全校で取り組めるよう、指導・支援を行っている。 ・専門委員会の活動は、計画から実施までの時間があまりない中ではあるが、実施できている。 ・毎月、月初めの保健通信の発行で健康診断や健康に関する情報の発信を行っている。2学期からは保健室前の掲示板も使用できるように、掲示物による発信も行っている。 ・保健室利用の状況は、その都度情報の共有を図っているが、今後もC4hの記録も活用し、生徒支援を行っている。</p>	<p>・生徒専門委員会では、前・後期でテーマごとに調査・資料作成を行い、学校保健委員会で発表することができた。しかし、取組に差が見られるので、生徒一人一人が主体的に活動できるように指導・支援が必要である。 ・保健の情報は、毎月便りをホームページに掲載したり、保健室掲示板へ生徒の興味・関心が持てるような掲示物を作成したりして工夫することができた。 ・保健室利用状況や健康観察、身体測定などで得た情報を担任や学年と共有することができた。今後もC4hを活用しながら情報を共有し、生徒支援を行っていく。</p>
生徒会活動	<p>（生徒会活動を通して、協働して課題解決する力を高める）</p> <p>○生徒会目標を軸に、委員会や学級会などで話し合い、合意形成をする。それを基に行動する場面を設定する。 ○生徒会活動の取組を全校生徒及び教職員に発信していく。また活動に対する振り返りを行い、さらなる向上を目指す。 ○板津サミットを通して小学校との連携を深め、地域全体に生徒会活動の取組を広げていく。</p>	<p>・毎月の生徒集会の準備や運営などを生徒会メンバーを中心に行うことができた。板津ラジオを通して生徒たちの思いを共有し、認め合う雰囲気は繋がっている。 ・執行委員会の運営の見通しが持ておらず、形骸化している。2学期以降は週に一回執行委員会を開催し、各委員会と業務の調整を行っていく。 ・サミットに向けた計画はアンケートの実施時期の延期を受けてずれ込んでいる。今後は夏休み期間中にアンケート結果の分析と全校活動の吟味、サミットに向けた準備を行っていく。</p>	<p>・毎週月曜日に生徒会執行委員会を行い、各委員会の取組状況の共有や生徒会業務の調整を行うことができた。 ・毎月の生徒集会の準備や板津祭などの学校行事の運営は昼休み中に行っていたが、時間が足りず、不十分ことも多々あった。今後は生徒会の取組を精選し、余裕を持って取り組めるようにしたい。 ・後期生徒会の取組や発信が不十分だったため、次年度はTeamsや放送を活用して充実させたい。</p>
学校関係者評価	<p>・学校重点項目については概ね良好と思われる。④は高いが、①～③についても生徒、教員とも80%越えになるよう引き続き取組をお願いしたい。 ・「学校は楽しい」の項目において、生徒、保護者、教員全て80%以上で目標を越えていることが素晴らしい。学校が楽しいということは最も大切なことである。 ・板津中学校の生徒は恥ずかしがらず、挨拶がしっかりできている。必ず挨拶を返してくれる。笑顔で登下校する姿が見られる。 ・いつ何が起きるかわからない世の中なので、引き続き防災意識を高く持ち、小松市の防災講座等を活用し様々な知識を育んでほしい。 ・コロナ禍が過ぎ、更なる多忙が予想されるが、定時退庁を毎週1回を目ざして、一層の働き方改革への取組をお願いしたい。（月1日水曜日→毎週水曜日に） ・目標数値、また生徒・教師間で差異の小さい数値になるよう取組を進めてほしい。 ・ステップルーム等を活用して個々に応じた細やかな支援を継続し、休みがちな生徒の救を増やさないようにしてほしい。</p>		

令和5年度 年度末 板津中学校 学校評価 保護者アンケート結果

	Yes	No	(%)
1 PTA 総会やその際の資料（教育の指針）などで、学校の方針や取り組みのことが理解できた。	94	6	→
2 学校は行事予定や生徒の活動の様子を学校だより・学年だよりや学校のホームページなどで知らせている。	97	3	↑+7
3 学校は交通安全や危険回避等の指導を適切に行っている。	92	8	→
4 地域で見かける生徒の登下校時の様子（交通マナーなど）は適切なものである。	87	13	↑+9
5 生徒は、地域や学校でよく挨拶ができる。	85	15	↓-5
6 学校は子どものことについての不安や相談に適切に応じてくれている。	93	7	→
7 先生は生徒指導上の問題に対して、きちんと対応している。	93	7	→
8 学校は、家庭学習の指導を適切に行っている。	83	17	→
9 学校と家庭・地域が連携して子どもを育てていると感じている。	87	13	↓-9
	Yes	No	
1 子どもは、日常生活の基本的な挨拶はできている。	87	13	↓-10
2 子どもは、時と場に応じた言葉遣いや行動ができるようになっている。	89	11	↓-8
3 子どもは、社会のルールや学校の規則を守っていると思う。	95	5	→
4 子どもの加入している部活動や校外活動のクラブは、子どもを成長させるのに役立っている。	93	7	→
5 子どもは、朝食を食べて登校している。	98	2	→
6 家庭での親子の会話から、子どもの友人関係や学校での様子をほぼ理解している。	85	15	→
7 家庭での会話の中で、その時々ニュースなどについても触れるようにしている。	90	10	↑+10
8 ネットトラブル防止のために、家庭で時間やルールを決めよく注意をしている。	87	13	↑+9
9 テレビやゲーム、ネット利用のため、家庭学習の時間が不足している。	71	29	↑+11
10 家庭では、子どもと将来の目標や生き方、進路のことなどについて話すことがある。	77	23	→
11 子どもは、将来の夢や目標をもっている。	63	37	↓-9
12 子どもは、学校に行くことが楽しいと感じている。	83	17	→
13 子どもは、自分で計画を立てて勉強している。	61	39	→
14 子どもは、三点固定（①起床時間 ②学習開始時間 ③就寝時間）の生活習慣づくりに取り組んでいる。	65	35	→

Ⅲ 2学期の平日の平均的な家庭学習時間（塾、家庭教師等があればそれも含む。）

①全くしない	7%	↑+6
②30分未満	16%	↑+12
③30分以上1時間未満	30%	↑+20
④1時間以上2時間未満	33%	↓-33
⑤2時間以上3時間未満	10%	↑+3
⑥3時間以上	4%	↑+3

Ⅳ 2学期の平日の平均的なテレビや携帯電話、ゲーム、漫画等に費やす時間

①全くしない	1%
②30分未満	2%
③30分以上1時間未満	6%
④1時間以上2時間未満	33%
⑤2時間以上3時間未満	41%
⑥3時間以上	17%

IV その他、本校の教育活動における意見・感想等（自由記述）

学習

- 1 家庭で勉強できないので宿題を多く出して欲しい。
- 2 中学なので親がどこまで介入していいのかわからない。家庭学習を全くしない。子供に聞いても学校でしてきたと言う。提出物の有無などもわからず。できてない時は知らせてもらえるとありがたいです。
お忙しいとは思いますが指導していただけると助かります。

→全学年、毎週末、タブレットを使って取り組む cubina による家庭学習に取り組んでおります。また各教科からは、1週間の学びを振り返る課題が出ており、どのように進めるかは自分で決めています。引き続き、担任と教科担当で取組状況を確認し、個別に声かけを行っていきます。不安な点等ありましたら、担任を通じてご連絡ください。

- 3 学校が楽しみと思える事柄が極端に少ないし勉強にも意欲的になれないようです。勉強の意欲が少しでもあれば、時間になったらオンラインで授業の出席も出来るような環境を今後可能とさせていただきますと有り難いです。

→オンラインによる授業等、個別に配慮が必要な場合は担任を通じてご連絡ください。

自転車通学

- 4 ヘルメットを使用していない生徒をたまにみかけます。
- 5 自転車小屋の生徒出入口から勢いよく自転車の生徒が出てきて、危ない思いをした事があるので、気をつけてほしいです。（朝の登校で、車での送迎時に）

→9月に警察からの指導があり、荒屋方面の自転車通学生を集め、自転車の乗り方や道路の横断の仕方について確認しました。今後も引き続き、集会や登校指導で注意喚起をしていきます。ご家庭におかれましても、ぜひ声かけのご協力をお願いいたします。

服装

- 6 通学時、雨だとカッパを着るのであまり思いませんが、この季節で天気がいい日は寒く上着を着せたいのですが、指定された上着とか部活の上着とか、どういった上着を着せて良いのか?の情報がほしいです。わたしは知り合いから情報を得ましたが、知り合いがいない親御さんは情報収集ができないので、学校からの情報や連絡があるとありがたいです（防寒シューズのお知らせはありがたかった）。

→上着については特に指定はなく、生徒は、白、グレー、紺、黒、ベージュ等の華美ではないものを着て登校しています。詳細については新入生保護者説明会で配布した資料や生活ノート（板津スタンダード）でご確認ください。

その他

- 7 合唱コンクールを見に行きました。子供達はとても頑張っていました。2年生の課題曲の伴奏がCDなのは何故ですか。しかも歌っているとCDの音が全然聞こえなかったそうです。子供達が戸惑っているのが見ていてわかりました。せっかく頑張って練習したのに、本番がアレでは残念でなりません。

→ピアノ伴奏ができる生徒が少ないため、一人で2曲を担当するのは負担が大きいと考え、CDによる伴奏となりました。コンクール後の教職員の反省からも同様の意見がありましたので、次年度はCDによる伴奏は行わない方向で開催します。

- 8 コドモンの添付ファイルを開いても見れない時が多々ある。

→コドモンの保護者アプリ登録手順のFAQ ページにアクセスし、操作確認をお願いします。

- 9 今年度は、板津祭があり、いつもと違った行事もあり、子どもたちが楽しめるように考えられているなあと思いました。毎日忙しい中、子どもたちのためにありがとうございます。
- 10 いつもありがとうございます。運動会、合唱コンクールなど様々な行事を通して息子の学校での様子が垣間見え嬉しかったです。貴重な機会をありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。
- 11 校下、地域と密に関係を築いていこうとする体制がよくわかります。子どもたちや地域の方双方にも良いと思います。板津祭のような学校内に立ち入るときも、参加者を事前に把握して誰でも入れないことも危険回避のうえで良いと思います。先生方のお陰様で充実した学校生活を送れていることに感謝しております。
- 12 親側からコミュニケーションをとろうと思いますが…拒絶されます。ひきこもっていないので今のところ安心しています。我が道まっしぐらです。今後ご指導を宜しくお願い致します。
- 13 いつもありがとうございます。

貴重なご意見をありがとうございました。これからも信頼される学校づくりに努めていきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。